

製品名: MIP-1 α ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13908**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	CCL3 CCL3; G0S19-1; MIP1A; SCYA3; C-C motif chemokine 3; G0/G1 switch regulatory protein 19-
別名	1; Macrophage inflammatory protein 1-alpha; MIP-1-alpha; PAT 464.1; SIS-beta; Small-inducible cytokine A3; Tonsillar lymphocyte LD78 alpha protein
遺伝子 ID	6348.0
SwissProt ID	P10147
免疫原	抗血清はヒト MIP-1 α 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 26-75

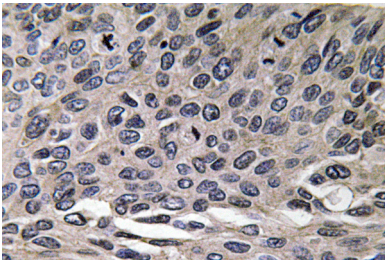
背景

この遺伝子座は、誘導性小細胞性サイトカインを表す。コードされているタンパク質はマクロファージ炎症性タンパク質 1 α としても知られ、受容体 CCR1、CCR4、および CCR5 への結合を介して炎症反応に関与する。この遺伝子座の多型は、ヒト免疫不全ウイルス 1 型 (HIV) の感染に対する抵抗性と感受性の両方に関連する可能性がある。[RefSeq 提供、2010 年 9 月]、機能: 炎症性およびケモカイン性特性を持つモノカイン。CCR1、CCR4、および CCR5 に結合し、CD8 陽性 T 細胞によって産生される主要な HIV 抑制因子の一つである。組み換え MIP-1- α は、HIV-1、HIV-2、およびサル免疫不全ウイルス (SIV) の異なる株に対して、用量依存的な阻害を誘導する。誘導: TPA または PHA による (TPA = 12-O-テトラデカノイルホルポール-13 アセテート (腫瘍プロモーター)、PHA = フィトヘマグルチニン (T 細胞マイトジェン))。オンライン情報: マクロファージ炎症性タンパク質の侵入,PTM: N 末端処理型 LD78- α (4-69) は、HTLV1 によって形質転換された T 細胞から分泌された後、タンパク質分解によって生成される。類似性: インタークリン β (ケモカイン CC) ファミリーに属する。サブユニット: 自己会合する。MIP-1- α (4-69) と MIP-1- β (3-69) のヘテロ二量体でもある。

研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;ケモカイン;Toll_Like;

画像データ



パラフィン包埋ヒト肺癌組織における MIP-1 α 抗体の免疫組織化学分析。